

公表:令和 5年 3月 31日

事業所名 ヨシア(スカイブルー)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	○			規定よりも広いスペースで 発達支援を行っています。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			規定よりも多い人数で発達 支援を行っています。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか	○			建物の一階ですので、段差 はありません。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設 定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎週のクラス会議で情報を 共有し、対応を協議してい ます。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	○			毎年実施し、HPにて公表 し、事業所上がった内容 を法人内で共有していま す。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか	○			毎年実施し、HPにて公表し ています。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか	○			外部のコンサルタントから 業務改善に関わる研修会 を階級ごと、年数ごとに受 ける機会があります。	
適切な 支援の 提供	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	○			学習会や研修会を定期的 に行っています。	
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者と日々お話をしたり 、発達支援の内容を伝えあ い、ご要望も取り入れ、 作成しています。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	○			コモンセンスペアレンティ ングを中心にした発達支 援を行っています。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			週に1回のクラス会議や季 節の行事を事業所の職員 で相談して準備していま す。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか	○			毎月、月予定を発行し、さ まざまなプログラムを実 施しています。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか	○			不登校児を対象としてい るのでスケジュールや開所 時間の変更はありません が、長期休みには行事や おでかけを企画して行っ ています。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を 作成しているか	○			子ども達の気持ちを聞いて 活動に取り入れ、保護者と も伝えあい、集団活動と 個別活動を合わせながら 行っています。	

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			その日の動きを法人の朝礼で話し、事業所でも共有し、実行しています		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		子どもたちの様子で気が付いたことは、細目にコミュニケーションをとり、クラス会議で共有しています。	その日のうちに行うのが難しく、細かな気付きをクラス会議などでまとめて共有することがある。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録をとっています。		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一回の見直しを基本に、保護者からの要望があれば随時作成をしています。		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			法人内でガイドラインののっとり、標準化したプログラムを使いながら発達支援をしています。	放課後等デイサービスのガイドラインを設置し、いつでも見られる環境にする。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が中心となりながら参加しています。		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			不登校児を対象とした事業所なので、登校についてなど保護者と連絡を取りながら行っています。		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○		対象児なし	対象となる子どもがいません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				児童発達支援センターが母体の法人で、法人内で持ち上がりの子が多いです。法人内で引継ぎを行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		対象となった子どもがいません	対象となる子どもがいません
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				児童発達支援センターが母体の法人です。法人で研修会を企画し、事業所の職員も参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		感染予防の観点からも実施しませんでした。	感染予防の観点からも実施しませんでした
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				法人が自立支援協議会を運営する立場にあるので、研修会にも参加しています。	全員が参加するのは難しいので内容を参加した職員がしていない職員にも共有できるようにしていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				子どもたちの様子をこまめに連絡し、情報を共有することが出来るようにしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	○				コモンセンスペアレンティングを中心にした発達支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				契約時に説明をしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				保護者の困りに事業所だけではなく、法人で緊急携帯を設置し、24時間365日対応しています。事業所でも月1回の事業所内相談支援、グループカウンセリング、電話連絡などでお話することが出来ます	

保護者への説明責任等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母会だけではなく、フリースクール、午後部などの小学生以上対象の父母と子どもの会も運営しています。	未加入の利用児にも声を掛け、保護者同士も協力していけるように支援していきたいと思っています。
	㉑	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			対応のマニュアルに沿った対応をしています。事業所内だけでなく、法人内のマネージャーと相談し、素早い対応を心がけています。	
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			がくぶりで事業所内の活動概要をお伝えしています。	
	㉓	個人情報に十分注意しているか	○			書類は鍵付きの書庫に保管しています。	
	㉔	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			電話連絡やがくぶりの利用、メールの使用など保護者や子どもたちに合わせた形を使っていただくことができます。	
	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	感染予防の観点からも実施しませんでした。	以前はバザーを法人で企画し、行っていました。現在は感染予防の観点から実施していません
非常時等の対応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを作成し、事業所の入り口に掲示しています。	マニュアルを知っている方は多くいたが、実際に見たことがない方もいたので見てもらえるように声掛けをします。
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1回の避難訓練に加えて、半年に1回総合避難訓練を実施しています。	避難訓練を実施していることが保護者にも周知出来たので、これからも安全を守ることが出来るように継続していきます。
	㉘	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎週1回アンガーマネジメントの練習を行い、職員も交代する、イライラしたら離れるなどの練習をしています。	職員・パートともに定期的に練習しています。
	㉙	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束をする場合は保護者や児童相談所とも相談して計画に明記した上で行っています。	
	㉚	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			4月にアレルギーのアンケートを行い、必要に応じて対応しています。	
	㉛	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			安全委員会を設置し、法人内で社内SNSを活用し、全事業所のヒヤリハットを共有しています。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。